

## 理科

令和5年度 多摩市立聖ヶ丘小学校 授業改善推進プラン 教科名

理科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

ア知識及び技能

イ思考力、判断力、表現力など

観察・実験などで得た知識や技能を既存の知識と関連付けたり、活用したりすること。

見通しをもって主体的に問題解決するために、問題を見いだしたり、実験結果を基に考察したり、自分の考えを分かりやすく表現したりすること。

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第3学年	<p>ア器具の正しい使い方や観察、実験の結果をまとめることが苦手である。</p> <p>イ観察、実験の結果をまとめ、考察することに課題がある。</p>	<p>ア器具を正しく使うために、体験的な活動を多く取り入れ問題を追究させる。また、結果をまとめるために、観察、実験の結果を表に整理する。</p> <p>イ結果から考察することができるようにするため、観察、実験の結果を表に整理して比較し、事物・現象について考えたり説明したりする活動に取り組む。</p>	<p>ア年間を通して</p> <p>イ年間を通して</p>	<p>ア器具の正しい使い方について説明し、手本を提示することで、安全に実験を進めることができた。実験結果をグラフや表などに整理することで、順序立ててまとめることができるようになってきた。</p> <p>イ観察や実験結果から考察したことを、整理し、伝え合ったり比較したりすることで、少しずつ自分の言葉で説明できる児童が増えてきた。</p>
第4学年	<p>ア既習の内容と日常生活で見られるものとを、関連付けられていない。</p> <p>イ実験の目的を十分理解して学習することが苦手である。</p>	<p>ア日常生活との関連に気付かせるために、単元ごとに振り返りを行い、活用されている生活場面を考える時間を設定する。</p> <p>イ主体的に問題解決に取り組むことができるように、根拠のある予想や仮説を考え、図を用いて表現したり、言葉で説明したりする活動に取り組む。</p>	<p>ア年間を通して</p> <p>イ年間を通して</p>	<p>ア生活経験を基に根拠のある予想を立てられるようになってきた。また、実験結果から生活経験と関連させながら考察することができるようになってきた。</p> <p>イ予想を立てるときに、自分の考えを図や言葉で表現し、実験内容を明確化したことによって、主体的に実験に取り組めるようになってきた。</p>
第5学年	<p>ア観察、実験結果から学習内容の理解を深められていない。</p> <p>イ解決の方法を考えることが苦手である。</p>	<p>ア結果から理解を深めるために、条件を制御した点を明確にして実験し、結果を適切に処理できるようにする。</p> <p>イ解決方法を考えるために、予想や仮説を図や絵などを用いて表現したり、言葉で説明したりするなど、考えたり説明したりする活動の充実を図る。</p>	<p>ア年間を通して</p> <p>イ年間を通して</p>	<p>ア実験の考察や結果を書いたノートを集め指導したことで、観察、実験結果から学習内容の理解を深められてきた。</p> <p>イ必要に応じて図や絵などを用いて表現したり、言葉で説明したりすることで解決の方法を考えられるようになってきた。</p>
第6学年	<p>ア学習内容を日常生活と関連付けられていない。</p> <p>イ既習の知識や観察・実験で得られた知識から、より妥当な考えを作り出すことを苦手としている。</p>	<p>ア日常生活との関連に気付かせるために、単元ごとに振り返りを行い、教科書のコラムや資料を読み、活用されている生活場面を考える時間を設定する。</p> <p>イより妥当な考えを作り出すことができるように、多面的に調べた結果を表に整理したり、そこから考えたことを図や絵、文を用いて表現したりして、考えたり説明したりする活動に取り組む。</p>	<p>ア年間を通して</p> <p>イ年間を通して</p>	<p>ア日常生活とのつながりを想起できる活動を意識して取り入れたり、共通の体験を行ったりすることで、学習に結び付けて考えることができてきた。</p> <p>イ実験結果から導き出された考えをグループで交流し、自分や友達の考えを比較したり関係付けたりすることで、より妥当な考えを導き出すことができてきた。</p>

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末など ICT の効果的な活用について

【全学年】

<指導の個別化>

・デジタル教科書、学習動画、検索機能、画像提示機能などから自分に合った方法を選び理解を深める。

<学習の個性化>

・自分で設定した課題について、検索機能、学習動画を活用してものの見方を深めたり広げたりする。

<協働的な学び>

・調べたことを共有機能、スライド機能、共同編集機能、カメラ機能、プレゼンテーション機能を活用して交流し、よりよい考えを生み出す。

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫など、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

【3年～6年】

興味をもって問題解決ができるような事象を提示する。  
問題解決の過程を繰り返し行い、児童が見通しをもって学習できるようにする。